

眼科学教室業績

I. 講演

1. 永井由巳, 高橋寛二, 大路正人, 岡田アナベルあやめ, 小林正人, 松田淑美, 寺野泰弘: ALTAIR Study: baseline features affecting week 16 fluid status in nAMD patients. 第124回日本眼科学会総会. 東京・ハイブリッド. 2020年4月16-19日.
2. 藤田愛, 片岡恵子, 武内潤, 浅井景子, 中野友哉子, 堀口悦代, 伊藤逸毅, 寺崎浩子: OCT angiography を用いた滲出性黄斑疾患の鑑別. 第124回日本眼科学会総会. オンライン. 2020年4月16日.
3. 林勇海, 慶野博, 中山真紀子, 渡辺交世, 安藤良将, 岡田アナベルあやめ: 両眼強度近視患者に発症した交感性眼炎の一例. 第124回日本眼科学会総会. 東京・ハイブリッド. 2020年4月17日.
4. 長谷川英一, 園田康平, 南場研一, 岡田アナベルあやめ, 大黒伸行, 後藤浩 (日本眼炎症学会): 2016年度ぶどう膜炎全国疫学調査の結果報告. 第124回日本眼科学会総会. 東京・ハイブリッド. 2020年4月16-19日.
5. Hayakawa R, Komoike K¹, Kawakami H², Morishima M¹, Shimizu K³, Kitahara S¹, Fujieda H¹, Ezaki T¹ (¹ Tokyo Women's Medical University, ² Department of Anatomy, ³ Toho University) : Ectopic cells found in the multilayered basal laminae of the choriocapillaris. 第124回日本眼科学会総会. オンライン. 2020年4月16日-19日.
6. Takase H, Smith J, Acharya N, Thorne J, McCluskey P, Bodaghi B, Khairallah M, Babu K, Tesavibul N, Tugal-Tutkun I, Yamamoto J, Rao N, Mochizuki M, for the 7th IWOS Study Group : Expert recommendations for management of ocular sarcoidosis. オンライン. 2020年5月3-6日.
7. Mitchell P, Holz FG, Hykin P, Midena E, Okada AA, Souied E, Takahashi K, Wolf S, Allmeier H, Lambrou G, Schmelter T, Ohji M : Comparison of treat-and-extend (T&E) dosing regimens and visual outcomes in the ARIES and ALTAIR studies of intravitreal aflibercept in neovascular age-related macular degeneration (nAMD). オンライン. 2020年5月3-6日.
8. 北善幸: シンポジウム3 機能は本当に構造の後なのか? 視野検査の立場から. 第9回日本視野画像学会学術集会. オンライン. 2020年5月22-23日.
9. 厚東隆志: In と out で理解する硝子体手術. ひとみ会 web lecture, オンライン, 2020年6月12日.
10. 厚東隆志: 新型コロナ流行下における RVO 診療. Novartis Pharma Web Symposium. オンライン. 2020年6月18日.
11. 角田麻理, 鈴木由美, 安藤理恵, 吉野浩, 富田茜, 満川忠宏, 永根基雄, 平形明人: 両側の視神

- 経膠腫 (Optic Pathway Glioma: OPG) を伴った神経線維腫症 I 型の 1 例. 第 45 回日本小児眼科学会・第 76 回日本弱視斜視学会合同学会. オンライン. 2020 年 7 月 3 日~16 日.
12. Inoue M: PRO Vitrectomy for Non-Tractional DME. Debate. Surgical Controversies in Vitreo-retinal Surgery: The Debate Early Vitrectomy for Non Tractional DME vs. Repeat IVT Injections. World Ophthalmology Congress 2020. オンライン. 2020 年 6 月 26-29 日.
 13. 岡田アナベルあやめ: 招待講演 英文論文執筆の 10 Important Dos and Don'ts. Green Club 座談会. オンライン. 2020 年 7 月 18 日.
 14. Inoue M, Hirakata A: Intraoperative OCT guided vitrectomy for optic pit maculopathy. ASRS 2020. オンライン. 2020 年 7 月 24-29 日.
 15. 今野公士: 最新 IPL 光治療セミナー. IPL 治療の実際. 日本ルミナスウェブセミナー. オンライン. 2020 年 8 月 7 日.
 16. Inoue M. Intraoperative OCT assisted intrascleral fixation of intraocular lens. APRIS Annual meeting 2020 Virtual. オンライン. 2020 年 8 月 20-21 日.
 17. 山田昌和: コンタクトレンズアップデート. 第 99 回東京医大眼科臨床懇話会. オンライン. 2020 年 9 月 3 日.
 18. Inoue M, Hirakata A: Risk factors for primary failure of vitrectomy without laser for optic pit maculopathy. Club Jules Gonin: XXXIInd Meeting オンライン. 2020 年 9 月 3-5 日.
 19. 岡田アナベルあやめ: 特別講演 Medical Retina とぶどう膜炎における生物学製剤療法. 第 12 回福島眼科シンポジウム. オンライン. 2020 年 9 月 5 日.
 20. 井上真: Heads-up 手術を用いた黄斑前膜手術. 11 th Kanagawa Retina Forum. 横浜. 2020 年 9 月 11 日.
 21. 井上真: パーフェクトマッチング. NGENUITY®と 27G ベベルドカッター. Alcon area seminar in Fukuoka. オンライン. 2020 年 9 月 11 日.
 22. 林勇海, 慶野博, 中山真紀子, 安藤良将, 岡田アナベルあやめ: 虹彩の血管新生を伴った小児片眼性肉芽腫性前部ぶどう膜炎の 1 例. ぶどう膜炎カンファレンス. オンライン. 2020 年 9 月 11 日.
 23. 岡田アナベルあやめ: ぶどう膜炎臨床試験におけるフレアフォトメトリ標準化動向について. 特別講演、レーザーフレアメーターWeb カンファ. オンライン. 2020 年 9 月 14 日.
 24. 井上真: 糖尿病網膜症マネージメント. 第 7 回 Urayasu Macular Club. 浦安. 2020 年 9 月 25 日.
 25. 今野公士: 流涙症治療アップデート~その涙、本当ですか~. 興和創薬社内講演会. 三鷹市. 2020 年 9 月 25 日.
 26. 重安千花: 明日から役立つドライアイ診療. 杏林アイセンターオンライン講演会. オンライン. 2020 年 10 月 1 日.

27. Okada AA, Takahashi K, Matsuda Y, Sasaki K, Moon SC, Ohji M : Baseline features affecting week 16 fluid status in patients with exudative age-related macular degeneration treated with intravitreal Aflibercept in a Treat-and-Extend Regimen: Post-hoc Analysis of the ALTAIR Study. EURETINA. オンライン. 2020年10月1-4日.
28. Ohji M, Okada AA, Sasaki K, Moon SC, Machewitz T, Takahashi K : Relationship between retinal fluid and visual outcomes in patients with exudative age-related macular degeneration treated with intravitreal aflibercept using a treat-and-extend regimen: Post-hoc analysis of the ALTAIR Study. EURETINA. オンライン. 2020年10月1-4日.
29. Mitchell P, Holz FG, Hykin P, Midena E, Okada AA, Souied E, Takahashi K, Wolf S, Allmeier H, Lambrou G, Schmelter T, Ohji M : Comparison of treat-and-extend dosing regimens and visual outcomes in the ARIES and ALTAIR studies of intravitreal aflibercept in neovascular age-related macular degeneration. EURETINA. オンライン. 2020年10月1-4日.
30. 北善幸 : 新しい緑内障手術. 多摩地区地域医療連携 WEB 講演会. オンライン. 2020年10月1日.
31. 齊藤恒浩, 北善幸, 村井顕子, 江本宜暢, 角田和繁, 平形明人 : 網膜電位計 RETeval を用いて測定した photopic negative response の白内障術前後の変化. 第31回日本緑内障学会. オンライン. 2020年10月2日-4日
32. 鎌田沙知衣, 齊藤恒浩, 江本宜暢, 北善幸 : 続発緑内障に対してマイクロパルス毛様体光凝固術を施行した1例. 第63回東京多摩地区眼科集談会. オンライン. 2020年10月10日.
33. 山田昌和 : 診療ガイドラインに基づくドライアイ治療. 第74回日本臨床眼科学会シンポジウム1 新しい診療ガイドラインに基づいたドライアイ診療. オンライン. 2020年10月15日.
34. 鎌尾知行, 白石敦, 山田昌和, 坂井譲, 大橋裕一 (TS-1 スタディワーキンググループ) : TS-1 の眼障害発現時期に影響する因子 TS-1 による眼障害スタディから. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15日.
35. 渡辺仁, 島崎潤, 横井則彦, 山田昌和 : ドライアイスペシャリストの老舗こだわり講座 インストラクションコース. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15日.
36. 丸子留佳, 丸子一朗, 古泉英貴, 山本亜希子, 小笠原雅, 板垣可奈子, 岡田アナベルあやめ, 石龍鉄樹, 飯田知弘 : アフリベルセプト導入期治療後に滲出が残存する滲出型加齢黄斑変性の特徴. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15日.
37. 山田昌和 : 視機能低下による不具合は多岐にわたる. 第74回日本臨床眼科学会 シンポジウム12 人生100年時代の眼科医療. オンライン. 2020年10月16日.
38. 重安千花, 山田昌和, 福田昌彦, 高静花, 土至田宏, 大家義則, 子島良平, 江口洋, 鈴木崇, 川崎良, 西田幸二 : コンタクトレンズによる重篤な眼障害の全国調査. 第74回日本臨床眼科

学会. オンライン. 2020年10月16日.

39. 山田昌和, 鎌尾知行, 白石敦, 坂井譲, 大橋裕一 (TS-1 スタディワーキンググループ) : TS-1の涙液中薬物動態 TS-1による眼障害スタディ報告. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月16日.
40. 平塚義宗, 川崎良, 小野浩一, 山田昌和, 山下英俊 : 眼科医のための臨床疫学研究デザイン塾 4 臨床研究のピットフォール. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月16日.
41. 中山真紀子, 慶野博, 渡辺交世, 安藤良将, 林勇海, 阿部慎也, 岡田アナベルあやめ : 原田病初発例における中心窩下脈絡膜厚を指標とした臨床像の検討. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月16日.
42. 阿部慎也, 中村友子, 奥村詠里香, 岡田アナベルあやめ, 林篤志 : Vogt・小柳・原田病における脈絡膜血流の長期経時変化. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月16日.
43. 厚東隆志 : See more 手術を可視化するヘッズアップサージェリー. 第74回日本臨床眼科学会総会. 東京. 2020年10月15-18日.
44. 厚東隆志 : 術中光干渉断層計による術中診断 ~Rescan と EnFocus DEEP~. 第74回日本臨床眼科学会総会. 東京. 2020年10月15-18日.
45. 厚東隆志 : BRVO のより良い治療を目指して. 第74回日本臨床眼科学会総会. 東京. 2020年10月15-18日.
46. 水野雅春, 井上真, 厚東隆志, 平形明人 : 難治性黄斑円孔に対する意図的黄斑剥離を併用した硝子体手術の有用性. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
47. 加藤悠, 井上真, 平形明人 : 黄斑部硝子体皮質除去による裂孔原性網膜剥離術後の黄斑上膜発生予防の検討. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
48. 福本隆基, 廣田和成, 井上真, 平形明人 : 若年者の鈍的眼外傷による後囊破裂の2例. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
49. 成田文洋, 北善幸, 齊藤恒浩, 平形明人 : 進行性の視野障害を認めた乳頭周囲ピットの1例. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
50. 重安千花 : 眼科クリニックにおけるドライアイ受療患者の実態調査: DECS-J より明らかになったこと. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
51. 重安千花 : 明日から使える眼表面の層別診断~コツと臨床の実際~TFOD リアルワールドデータ. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
52. 山田昌和 : ドライアイ治療の最近の進歩. 第72回眼科専門医制度講習会. オンライン. 2020年10月17日.
53. 井上真 : 硝子体手術のイノベーション. HYPERVIT®&NGENUITY®. 第74回日本臨床眼

科学会ランチョンセミナー. オンライン. 2020年10月17日.

54. 厚東隆志:シンポジウム デジタル支援硝子体手術の可能性. 第74回日本臨床眼科学会総会. オンライン. 2020年10月15-18日.
55. 鈴木智, 後藤英樹, 山口昌彦, 福田憲, 近間泰一郎, 重安千花: インストラクションコース: Ocular Surface の症例検討会 (2nd session). 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
56. 松澤亜紀子, 月山純子, 高静花, 重安千花: インストラクションコース: 眼障害例から学ぶコンタクトレンズのきほん. 第74回日本臨床眼科学会. オンライン. 2020年10月15-18日.
57. 園田康平, 慶野博, 蕪城俊克, 楠原仙太郎: ぶどう膜炎続発緑内障における ROCK 阻害点眼薬グラナテックの可能性を探る. 第74回日本臨床眼科学会総会. オンライン. 2020年10月17日.
58. 今野公士: 流涙症治療アップデート~その涙、本当ですか~. 兵庫涙道角膜ドライアイ Gym. オンライン. 2020年10月22日.
59. 重安千花: シンポジウム: ガイドラインから一步踏み込む真菌症診察 眼科領域における真菌感染症. 第67回日本化学療法学会東日本支部総会・第69回日本感染症学会東日本地方会学術集会 合同学会. オンライン. 2020年10月23日.
60. 岡田アナベルあやめ: 見たいところが見えない! 加齢黄斑変性ってどんな病気? 市民公開講座、仙台・オンライン. 2020年11月1日.
61. 井上真: デジタル支援硝子体手術. 慶大眼科オータムセミナー2020. 東京. 2020年11月1日.
62. 齋藤翔子, 中山真紀子, 篠原大佑, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ: AMD 治療における抗 VEGF 薬の炎症性副作用. 第22回西東京眼科フォーラム. 東京. 2020年11月4日.
63. 岡田アナベルあやめ: 招待講演 Masquerading infection: when should you suspect it?. Jakarta Eye Center Saturday Seminar. オンライン. 2020年11月7日.
64. 岡田アナベルあやめ: 招待講演 The gap between WHO treatment for extrapulmonary tuberculosis and real-world ocular tuberculosis. Jakarta Eye Center Saturday Seminar. オンライン. 2020年11月7日.
65. Ohji M, Okada AA, Sasaki K, Moon SC, Machewitz T, Takahashi K. Relationship between retinal fluid and BCVA in patients with nAMD treated with IVT-AFL T&E: Post-hoc analysis of the ALTAIR Study. Annual Meeting of the American Academy of Ophthalmology, オンライン. 2020年11月14日-17日.
66. 岡田アナベルあやめ, 名畑浩昌: 招待講演 眼科臨床での COVID-19 対策. 武蔵野市眼科医会講演会. 武蔵野市・ハイブリッド. 2020年11月18日.
67. 今野公士: 流涙診療アップデート~涙管チューブの変遷~. 日本点眼、ロート製薬株式会社

社内講演会. 品川. 2020年11月20日.

68. 平形明人: ロービジョンケア〜チーム医療の大切さ〜.第6回 Medical Forum. 名古屋, オンライン, 2020年11月21日.
69. 北善幸: OCT活用による緑内障診療. 大塚製薬株式会社オンライン社内研修会. オンライン. 2020年11月27日.
70. 井上真: My way is 3D Digitally Assisted Surgery & HYPERVIT®. 第59回日本網膜硝子体学会ランチョンセミナー. 福岡. 2020年11月28日.
71. 片岡恵子, 牛田宏昭, 堀口悦代, 中野友哉子, 伊藤逸毅: Brolucizumab 投与後に生じた網膜血管炎の2例の特徴と治療経過. 第59回日本網膜硝子体学会総会. オンライン. 2020年11月28日.
72. 井上真: データサイエンスと網膜硝子体手術. 第59回日本網膜硝子体学会シンポジウム. 福岡. 2020年11月27-29日.
73. 水野雅春, 井上真, 厚東隆志, 平形明人: 術中光干渉断層計を用いた内境界膜剥離前後における黄斑円孔の形態評価. 第59回日本網膜硝子体学会. 福岡. 2020年11月27-29日.
74. 野地将, 水野雅春, 井上真, 厚東隆志, 平形明人: 裂孔原性網膜剥離の硝子体術後に生じる Multiple subretinal fluid blebs. 第59回日本網膜硝子体学会. 福岡. 2020年11月27-29日.
75. 成田文洋, 北善幸, 江本宣暢, 石田友香, 佐野公彦, 平形明人: 増殖糖尿病網膜症に合併した血管新生緑内障に対するチューブシャント手術の成績. 第59回日本網膜硝子体学会総会. 福岡. 2020年11月27-29日.
76. 百田陽介, 北善幸, 齊藤恒浩, 角田和繁, 平形明人: RETeval を用いて測定した photopic negative response に影響を与える因子についての検討. 第59回日本網膜硝子体学会総会, 福岡. 2020年11月27-29日.
77. 岡野佳那, 石田友香, 井上真, 平形明人: 乳頭周囲ぶどう腫を伴う視神経乳頭の乳頭ピットから生じたと思われる網膜剥離の一例. 第59回日本網膜硝子体学. 福岡. 2020年11月27-29日.
78. 井上真: ROP、血管腫合併のPVRの1例. 第26回信濃町網膜研究会. 東京. 令和2年12月4日.
79. 山田昌和: 充血を見たら 前眼部疾患の鑑別ポイント. 第14回北陸オフサルミックフォーラム. オンライン. 2020年12月5日.
80. 平形明人: 乳頭ピット黄斑症と類縁疾患. 山口眼科医会秋季総会. オンライン. 2020年12月6日.
81. Inoue M: Digitally Assisted Vitrectomy Surgery. PCV Summit 2020. オンライン. 2020年12月5-9日.

82. 井上真：ILM flap 法の最新知見・多焦点 IOL 挿入眼での網膜手術テクニック. Johnson & Johnson vision Web Seminar. 東京. 2020 年 12 月 10 日.
83. 厚東隆志：硝子体術者の難症例水晶体手術トラブルシューティング. Johnson & Jonson Vision Web Seminar. 東京. 2020 年 12 月 10 日.
84. 井上真, 厚東隆志, 平形明人：硝子体手術を施行した引きこもり増殖糖尿病網膜症の 2 例. 第 26 回日本糖尿病眼学会. オンライン. 2020 年 12 月 7-21 日.
85. 水野雅春, 井上真, 厚東隆志, 平形明人：増殖糖尿病網膜症に対する Heads-up surgery の手術成績. 第 26 回日本糖尿病眼学会. オンライン. 2020 年 12 月 7-21 日.
86. 北善幸：最新の緑内障治療について. 興和株式会社社内研修会. 調布. 2020 年 12 月 10 日.
87. 厚東隆志：最新の PRD 手術とカッターの進歩. Asia-Pacific Retina Forum 2020. 京都. 2020 年 12 月 12-13 日.
88. 今野公士：流涙症治療アップデート～その涙、本当ですか～. 大塚製薬社内ウェブ講演. 2020 年 12 月 17 日
89. 山田昌和：成人の斜視手術について. 豊島区眼科医会学術講演会. オンライン. 2021 年 1 月 16 日.
90. 平形明人：硝子体手術症例から学ぶ. 第 4 回大阪眼科アカデミー. オンライン. 2021 年 1 月 23 日.
91. 井上真：デジタル支援硝子体手術アップデート. 第 212 回宮城県眼科集談会. オンライン. 2021 年 1 月 23 日.
92. 井上真：ZIPANGU Study + 硝子体手術 update. Novartis Pharma Web Symposium. オンライン. 2021 年 2 月 4 日.
93. 北善幸：最新の緑内障治療について. 緑内障治療戦略 WEB セミナー. オンライン. 2021 年 2 月 4 日.
94. 斉藤翔子, 久須見有美, 松本杏奈, 藤井かんな, 重安千花, 山田昌和：帯状角膜変性に対するエチレンジアミン四酢酸キレート治療の有効性. 第 45 回日本角膜学会. オンライン. 2021 年 2 月 11 日.
95. 岡野香那, 久須見有美, 重安千花, 松本杏奈, 藤井かんな, 山田昌和：治療的表層角膜移植後に光学的全層角膜移植を施行した 4 例. 第 45 回日本角膜学会. オンライン. 2021 年 2 月 11 日.
96. 熊谷真理子, 重安千花, 久須見有美, 松本杏奈, 藤井かんな, 山田昌和：緑膿菌による CL 関連角膜炎の臨床像. 第 45 回日本角膜学会. オンライン. 2021 年 2 月 11 日.
97. 厚東隆志：治そう anterior PVR. 網膜 HOPE の会. オンライン. 2021 年 2 月 17 日.
98. 平形明人：視神経乳頭ピット黄斑症. 新・眼科診療アップデートセミナー2021 in Kyoto. オンライン. 2021 年 2 月 20 日-21 日.

99. Okada AA: 招待講演 Advancing our understanding of retinal fluid: results from aflibercept clinical trials. Webinar “Retina in Practice: translating clinical data to patient outcomes with aflibercept” Melbourne, Australia. オンライン. 2021年2月25日.
- 100.山田昌和: 成人の斜視手術 適応と効用について. 東多摩ビジョンケアセミナー. オンライン. 2021年2月26日.
- 101.山田昌和: マイボーム腺機能不全と眼瞼炎. 第26回北陸眼疾患シンポジウム. オンライン. 2021年2月27日.
- 102.岡田アナベルあやめ: 招待講演 ぶどう膜炎のイメージング. 第6回城西武蔵野眼科講演会. オンライン. 2021年3月3日.
- 103.渡邊交世: 佼成病院眼科の現状. 第6回 城西武蔵野眼科講演会. オンライン. 2021年3月3日.
- 104.平形明人: 緑内障眼に合併する網膜分離様所見と治療. 第25回秋田県眼科学術講演会. オンライン. 2021年3月6日.
- 105.北善幸: 隅角観察について. 第15回平成緑内障倶楽部. オンライン. 2021年3月11日.
- 106.重安千花: コンタクトレンズによる重篤な眼障害の全国調査. 日本コンタクトレンズ協会講演会. オンライン. 2021年3月11日.
- 107.中山真紀子: 杏林アイセンター 黄斑外来の現状. 第4回多摩地区 AMD 連携プログラム. 東京. 2021年3月18日.
- 108.平形明人: 緑内障眼に合併する網膜分離様所見と治療. 第28回島根眼科研究会. オンライン. 2021年3月21日.

II. 論文

1. Korobelnik JF, Loewenstein A, Eldem B, Jousseaume AM, Koh A, Lambrou GN, Lanzetta P, Li X, Lovestam-Adrian M, Navarro R, Okada AA, Pearce I, Rodriguez FJ, Wong DT, Wu L. Guidance for anti-VEGF intravitreal injections during the COVID-19 pandemic. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 258(6). 1149-1156. 2020.
2. Nishitsuka K, Kawasaki R, Yamakiri K, Baba T, Koto T, Yamashita H, Sakamoto T; Japan Retinal Detachment Registry Group : Preoperative factors to select vitrectomy or scleral buckling for retinal detachment in microincision vitrectomy era. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 258. 1871-1880. 2020.
3. Sakono T¹, Meguro A¹, Takeuchi M¹, Yamane T¹, Teshigawara T¹, Kitaichi N², Horie Y², Namba K³, Ohno S³, Nakao K⁴, Sakamoto T⁴, Sakai T⁵, Nakano T⁵, Keino H, Okada AA, Takeda A⁶, Ito T⁶, Mashimo H⁷, Ohguro N⁷, Oono S⁸, Enaida H⁸, Okinami S⁸, Horita N¹, Ota M¹, Mizuki N¹ (¹Yokohama City University Graduate School of Medicine, ²Health

- Sciences University of Hokkaido, ³Hokkaido University, ⁴ Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ⁵Jikei University School of Medicine, ⁶ Kyushu University, ⁷Japan Community Health care Organization Osaka Hospital, ⁸Saga University Faculty of Medicine) : Variants in IL23R-Clorf141 and ADO-ZNF365-EGR2 are associated with susceptibility to Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese population. PLoS ONE. 15(5). 2020 May 21. doi: 10.1371/journal.pone.0233464.
4. Mitsukawa T, Suzuki Y, Momota Y, Suzuki S, Yamada M : Anterior Segment Biometry during Accommodation and Effects of Cycloplegics by Swept-source Optical Coherence Tomography. Clin Ophthalmol. 14. 1237-1243. 2020. DOI: 10.2147/OPHTH.S252474.
 5. Hiratsuka Y¹, Yokoyama T², Yamada M (¹Juntendo University, ²National Institute of Public Health) : Higher participation rate for specific health checkups concerning simultaneous ophthalmic checkups. J Epidemiol. May 30. 2020. doi: 10.2188/jea.JE20200052.
 6. Suzumura A¹, Kaneko H¹, Funahashi Y¹, Takayama K¹, Nagaya M¹, Ito S¹, Okuno T¹, Hirakata T¹, Nonobe N¹, Kataoka K, Shimizu H¹, Namba R¹, Yamada K¹, Ye F¹, Ozawa Y¹, Yokomizo T¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : n-3 Fatty Acid and Its Metabolite 18-HEPE Ameliorate Retinal Neuronal Cell Dysfunction by Enhancing Müller BDNF in Diabetic Retinopathy. Diabetes. 69(4) . 724-735. 2020.
 7. Ando Y, Sato Y¹, Kudo A², Watanabe T, Hirakata A, Okada AA, Umezawa K³, Keino H (¹ Division of Radioisotope Research, ² Department of Anatomy, ³ Aichi Medical University) : Anti-inflammatory effects of the NF-κB inhibitor dehydroxymethylepoxyquinomicin on ARPE-19 cells. Mol Med Rep. 22. 582-590. 2020.
 8. Ito H¹, Ito Y¹, Kataoka K, Ueno S¹, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Fujita A¹, Horiguchi E¹, Kaneko H¹, Iwase T¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Association Between Retinal Layer Thickness and Perfusion Status in Extramacular Areas in Diabetic Retinopathy. Am J Ophthalmol. 215. 25-36. 2020.
 9. Kita Y, Holló G¹, Saito T, Momota Y, Kita R, Tsunoda K², Hirakata A(¹Semmelweis Univ, ²National Hospital Organization Tokyo Medical Center): RETeval Portable Electroretinogram Parameters in Different Severity Stages of Glaucoma. J Glaucoma. 29. 572-580. 2020.
 10. Kawashima M¹, Yamada M, Shigeyasu C, Suwaki K², Uchino M¹, Hiratsuka Y³, Yokoi N⁴, Tsubota K¹ (¹Keio University, ²Santen Pharmaceutical Company, ³Juntendo University, ⁴Kyoto Prefectural University) : Association of systemic comorbidities with dry eye diseases. J Clin Med. 9. 2040. 2020. doi:10.3390/jcm9072040.
 11. Koizumi H¹, Yamamoto A, Ogasawara M², Maruko I¹, Hasegawa T¹, Itagaki K², Sekiryu T², Okada AA, Iida T¹ (¹Tokyo Women's Medical University, ²Fukushima Medical University): Macular atrophy after aflibercept therapy for neovascular age-related

- macular degeneration: outcomes of Japanese multicenter study. *Jpn J Ophthalmol* 64:338-345, 2020.
12. Ito Y¹, Ito M¹, Ueno S¹, Kataoka K, Takeuchi J¹, Kominami T¹, Takayama K¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Changes in intraocular pressure and aqueous flare in eyes with multiple evanescent white dot syndrome. *Jpn J Ophthalmol*. 64(4) . 378-384. 2020.
 13. Hisatomi T¹, Enaida H², Yoshida S³, Hirakata A, Ohji M⁴, Nishida K⁵, Kubota T⁶, Ogata N⁷, Matsui T⁸, Kimura K⁹, Sonoda KH¹⁰, Uchiyama M¹¹, Kishimoto J¹¹, Todaka K¹¹, Nakanishi Y^{12,13}, Ishibashi T¹⁴ (¹ Chikushi Hosp, Fukuoka Univ, ²Saga Univ, ³Kurume Univ, ⁴Shiga Univ, ⁵Osaka Univ, ⁶Oita Univ, ⁷Nara Med Univ, ⁸Ohshima Eye Hosp, ⁹Yamaguchi Univ, ¹⁰Kyushu Univ, ¹¹Center for Clinical and Translational Research, Kyushu Univ Hosp, ¹²Kitakyushu City Hospital Organization, ¹³Clinical Research Support Center Kyushu, ¹⁴Kyushu Univ.): Safety and efficacy of brilliant blue g250(BBG) for lens capsular staining: a phase III physician-initiated multicenter clinical trial. *Jpn J Ophthalmol*. 64(5):455-461.2020.
 14. Sato Y¹, Keino H, Nakayama M, Kano M, Okada AA (¹ Division of Radioisotope Research) : Effect of in vivo expansion of regulatory T cells with IL-2/anti-IL-2 antibody complex plus rapamycin on experimental autoimmune uveoretinitis. *Ocul Immunol Inflamm*. May 27. 1-10. 2020
 15. Keino H, Watanabe T, Nakayama M, Komagata Y¹, Fukuoka K¹, Okada AA (¹Department of Rheumatology and Nephrology) : Long-term efficacy of early infliximab-induced remission for refractory uveoretinitis associated with Behcet's disease. *Br J Ophthalmol*. 2020 Sep 24. doi: 10.1136/bjophthalmol-2020-316892. [Online ahead of print]
 16. Shimura M, Kitano S, Muramatsu D, Fukushima H, Takamura Y, Matsumoto M, Kokado M, Kogo J, Sasaki M, Morizane Y, Utsumi T, Koto T, Sonoda S, Hirano T, Ishikawa H, Mitamura Y, Okamoto F, Kinoshita T, Kimura K, Sugimoto M, Yamashiro K, Suzuki Y, Hikichi T, Washio N, Sato T, Ohkoshi K, Tsujinaka H, Kusuhara S, Kondo M, Takagi H, Murata T, Sakamoto T; Japan Clinical Retina Study (J-CREST) group : Real-world management of treatment-naïve diabetic macular oedema: 2-year visual outcome focusing on the starting year of intervention from STREAT-DMO study. *Br J Ophthalmol*. 104(12). 1755-1761. 2020.
 17. Kato Y, Inoue M, Hirakata A: Effect of foveal vitreous cortex removal to prevent epiretinal membrane after vitrectomy and scleral buckling. *Ophthalmol Retina* 4:S2468-6530. 2020.
 18. Castro-Navarro V, Behar-Cohen F, Chang W, Jousseaume AM, Lai TYY, Navarro R, Pearce I, Yanagi Y, Okada AA. : Pachychoroid: current concepts on clinical features and

- pathogenesis. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol*. 2020 Oct 15. doi: 10.1007/s00417-020-04940-0. [Online ahead of print]
19. Shimizu H¹, Yamada K¹, Suzumura A¹, Kataoka K, Takayama K¹, Sugimoto M¹, Terasaki H¹, Kaneko H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Caveolin-1 Promotes Cellular Senescence in Exchange for Blocking Subretinal Fibrosis in Age-Related Macular Degeneration. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 61(11) . 21. 2020.
 20. Koto T, Kawasaki R¹, Yamakiri K², Baba T³, Nishitsuka K⁴, Hirakata A, Sakamoto T² (¹Osaka Univ, ²Kagoshima Univ, ³Chiba Univ, ⁴Yamagata Univ.); Japan-Retinal Detachment Registry Group: Six-months primary success rate for retinal detachment between vitrectomy and scleral buckling. *Retina*. 2020 Oct 14. [Online ahead of print]
 21. Shigeyasu C, Yamada M, Yokoi N¹, Kawashima M², Suwaki K³, Uchino M², Hiratsuka Y⁴, Tsubota K² (¹Kyoto Prefectural University, ²Keio University, ³Santen Pharmaceutical Company, ⁴Juntendo University) : Characteristics and Utility of Fluorescein Breakup Patterns among Dry Eyes in Clinic-Based Setting. *Diagnostics*. 2020. DOI 10.3390/diagnostics10090711.
 22. Saito-Uchida S, Inoue M, Koto T, Kato Y, Hirakata A: Vitrectomy combined with subretinal injection of tissue plasminogen activator for successful treatment of massive subretinal hemorrhage. *Eur J Ophthalmol*. 4 Nov 2020. DOI:10.1177/1120672120970404. [Online ahead of print]
 23. Yaginuma S, Inoue M, Itoh Y, Takahashi H, Hirakata A: Utility of intraoperative optical coherence tomography in acute endophthalmitis. *Retin Cases Brief Rep* (1):27-30. 2020.
 24. Yamada M, Nakano T¹, Matsuda H², Kim SW², Takagi Y³ (¹Jikei Medical University, ³IQVIA solutions Japan, ⁴Santen Pharmaceutical Company) : Cost-effectiveness and budget impact analysis of a patient visit support system for blindness reduction in Japanese patients with glaucoma. *J Med Econom*. 11. 1293-1301. 2020.
 25. Aicher NT¹, Nagahori K, Inoue M, Itoh Y, Hirakata A (¹Paracelsus Med Univ): Vascular density of anterior segment of eye determined by optical coherence tomography angiography and slit-lamp photography. *Ophthalmic Res*. 63(6). 572-579. 2020.
 26. Keino H. Evaluation of disease activity in uveoretinitis associated with Behçet's disease. *Immunol Med*. 29. 1-12. 2020. doi: 10.1080/25785826.2020.1800244.
 27. Agrawal R, Testi I, Bodaghi B, Barisani-Asenbauer T, McCluskey P, Agarwal A, Kempen JH, Gupta A, Smith JR de Smet MD, Yuen YS, Mahajan S, Kon OM, Nguyen QD, Pavesio C, Gupta V; Collaborative Ocular Tuberculosis Study Consensus Group (including Okada AA). Collaborative Ocular Tuberculosis Study consensus guidelines on the management of tubercular uveitis – Report 2: Guidelines for initiating antitubercular therapy in anterior uveitis, intermediate uveitis, panuveitis, and retinal vasculitis. *Ophthalmology*. 128. 277-287. 2021.

28. Takase H¹, Goto H², Namba K³, Mizuki N⁴, Okada AA, Ohguro N⁵, Sonoda KH⁶, Tomita M⁷, Keino H, Kezuka T², Kubono R¹, Mizuuchi K³, Shibuya E⁴, Takahashi H¹, Yanai R⁸, Mochizuki M¹ (1 Tokyo Medical and Dental University 2Tokyo Medical University 3 Hokkaido University 4Yokohama City University Graduate School of Medicine 5Japan Community Health Care Organization Osaka Hospital 6 Kyushu University Graduate School of Medicine 7 Yokohama City University 8Yamaguchi University Graduate School of Medicine) : Clinical characteristics, management, and factors associated with poor visual prognosis of acute retinal necrosis. *Ocul Immunol Inflamm*. 2020 Sep 18. 1-6. doi: 10.1080/09273948.2020.1789179. [Online ahead of print]
29. Yamada M, Hiratsuka Y¹, Nakano T², Kita Y, Watanabe T², Tamura H³, Kawasaki R⁴, Yokoyama T⁵, Takano S⁶ (1Juntendo University, 2Jikei Medical University, 3Kyoto University, 4Osaka University, 5National Institute of Public Health, 6Japan Ophthalmologist Association) : Detection of Glaucoma and Other Vision-threatening Ocular Diseases in the Population Recruited at Specific Health Checkups in Japan. *Clin Epidemiol*. 12. 1381-1388. 2020.
30. Fujita A¹, Kataoka K, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Horiguchi E¹, Kaneko H¹, Ito Y¹, Terasaki H¹ (1Nagoya University Graduate School of Medicine) : DIAGNOSTIC CHARACTERISTICS OF POLYPOIDAL CHOROIDDAL VASCULOPATHY BASED ON B-SCAN SWEPT-SOURCE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY ANGIOGRAPHY AND ITS INTERRATER AGREEMENT COMPARED WITH INDOCYANINE GREEN ANGIOGRAPHY. *Retina*. 40(12). 2296-2303. 2020.
31. Murata T¹, Kondo M², Inoue M, Nakao S³, Osaka R⁴, Shiragami C⁴, Sogawa K⁵, Mochizuki A⁶, Shiraga R⁶, Ohashi Y⁶, Kaneko T⁶, Chandrasekhar C⁷, Tsujikawa A⁸, Kamei M⁹ (1Shinshu University School of Medicine, 2Mie University Graduate School of Medicine, 3Kyushu University, 4Kagawa University Faculty of Medicine, 5Asahikawa Medical University, 6Novartis Pharma K.K., 7Novartis Healthcare Pvt. Ltd., 8Kyoto University Graduate School of Medicine, 9Aichi Medical University): The randomized ZIPANGU trial of ranibizumab and adjunct laser for macular edema following branch retinal vein occlusion in treatment-naive patients. *Sci Rep*. 11(1). 551. 2021.
32. Hirakata T^{1,5}, Fujinami K^{2,5,6}, Saito W^{3,7}, Kanda A³, Hirakata A, Ishida S³, Murakami A¹, Tsunoda K⁵, Miyake Y⁴ (1Juntendo Univ, 2Keio Univ, 3Hokkaido Univ, 4Kobe Eye Center, 5National Hospital Organization Tokyo Medical Center, 6UCL Institute of Ophthalmology, 7Kaimeido Eye and Dental Clinic): Acute unilateral inner retinal dysfunction with photophobia: importance of electrodiagnosis. *Jpn J Ophthalmol* 65:42-53. 2021.
33. Ishida T, Fukumoto R, Wakabayashi Y¹, Itoh Y, Inoue M, Hirakata A (1Tokyo Medical

- University): Case of peripheral fibrovascular proliferative retinopathy associated with morning glory disc anomaly. *Am J Ophthalmol Case Rep.* 22. 101029. 2021.
34. Inoue M, Aicher NT¹, Itoh Y, Bissen-Miyajima H², Hirakata A (¹PMU-Paracelsus Medical Univ, ²Tokyo Dental College Suidobashi Hospital): Quality of view through extended depth of focus intraocular lens in a model eye. *Jpn J Ophthalmol.* Jan 26 2021. [Online ahead of print]
 35. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Intraoperative optical coherence tomography-assisted displacement of prepapillary membrane in eyes with optic disc pit maculopathy. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* Jan 18 2021. [Online ahead of print]
 36. Tsunekawa Y¹, Kataoka K, Asai K¹, Ito Y¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Four-year outcome of aflibercept administration using a treat-and-extend regimen in eyes with recurrent neovascular age-related macular degeneration. *Jpn J Ophthalmol.* 65(1). 69-76. 2021.
 37. Sonoda K, Hasegawa E, Namba K, Okada AA, Ohguro N, Goto H, JOIS (Japanese Ocular Inflammation Society) Uveitis Survey Working Group : Epidemiology of uveitis in Japan ; a 2016 retrospective nationwide survey. *Jpn J Ophthalmol* 65(2). 184-190. 2021.
 38. Kataoka K, Horiguchi E¹, Kawano K¹, Ushida H¹, Nakano Y¹, Ito Y¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Three cases of brolocizumab-associated retinal vasculitis treated with systemic and local steroid therapy. *Jpn J Ophthalmol.* 65(2) . 199-207. 2021.
 39. Takashi N¹, Nakamura A¹, Kataoka K, Usui Y¹, Ito Y¹, Kaneko H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Optical coherence tomography angiography for the diagnosis of granulomatosis with polyangiitis with serous retinal detachment ; A case report. *Medicine (Baltimore).* 100(7) . e24789. 2021.
 40. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Flow dynamics of beveled-tip and flat-tip vitreous cutters. *Retina* 41:445-453. 2021.
 41. Mitchell P, Rodriguez FJ, Jousseaume AM, Koh A, Eter N, Wong DT, Korobelnik JF, Okada AA. Management of retinal pigment epithelium tear during anti-vascular endothelial growth factor therapy. *Retina* 41:671-678. 2021.
 42. Baba T, Kawasaki R, Yamakiri K, Koto T, Nishitsuka K, Yamamoto S, Sakamoto T; Japan-Retinal Detachment Registry Group : Visual outcomes after surgery for primary rhegmatogenous retinal detachment in era of microincision vitrectomy: Japan-Retinal Detachment Registry Report IV. *Br J Ophthalmol.* 105(2). 227-232. 2021.
 43. Funahashi S¹, Ito Y¹, Kataoka K, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Fujita A¹, Horiguchi E¹, Taki Y¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Spontaneous closure of macular hole after vitrectomy for myopic retinoschisis with foveal detachment.

- Retin Cases Brief Rep. Online ahead of print. 2021.
44. Korobelnik JF, Loewenstein A, Eldem B, Jousseaume AM, Koh A, Lambrou GN, Lanzetta P, Li X, Lovestam-Adrian M, Navarro R, Okada AA, Pearce I, Rodriguez FJ, Wong DT, Wu L. Anti-VEGF intravitreal injections in the era of COVID-19: responding to different levels of epidemic pressure. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol*. 259. 657-674. 2021.
 45. Takeuchi J¹, Kataoka K, Shimizu H¹, Tomita R¹, Kominami T¹, Ushida H¹, Kaneko H¹, Ito Y¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Intraoperative and postoperative monitoring of autologous neurosensory retinal flap transplantation for a refractory macular hole associated with high myopia. *Retina*. 41(5) . 921-930. 2021.
 46. Agrawal R, Testi I, Lee CS, Tsui E, Blazes M, Thorne JE, Okada AA, Smith JR, McCluskey PJ, Kempen JH, Tappeiner C, Agarwal M, Bodaghi B, Nguyen QD, Gupta V, De Smet MD, Zierhut M, Pavesio C : COVID-19 IMT Study Group. Evolving consensus for immunomodulatory therapy in non-infectious uveitis during the COVID-19 pandemic. *Br J Ophthalmol*. 105. 639-647. 2021.
 47. Maruko I, Okada AA, Iida T, Hasegawa T, Izumi T, Kawai M, Maruko R, Nakayama M, Yamamoto A, Koizumi H, Tamashiro T, Terao N, Wakugawa S, Mori R, Onoe H, Tanaka K, Wakatsuki Y, Itagaki K, Kasai A, Ogasawara M, Sekiryu T, Shintake H, Sugano Y: Japan AMD Research Consortium : Brodalumab-related intraocular inflammation in Japanese patients with age-related macular degeneration: A short-term multicenter study. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 2021 Mar15. doi: 10.1007/s00417-021-05136-w. [Online ahead of print]
 48. Yaginuma S, Konno K, Shigeyasu C, Yamada M : Tear protein analysis in patients with primary acquired nasolacrimal duct obstruction treated with lacrimal passage intubation. *Jpn J Ophthalmol*. DOI 10.1007/s10384-020-00804-6.
 49. Fujita A¹, Kataoka K, Takeuchi J¹, Nakano Y¹, Horiguchi E¹, Kaneko H¹, Ito Y¹, Terasaki H¹ (¹Nagoya University Graduate School of Medicine) : Author Response to Diagnostic Characteristics of B-Scan Swept-Source Optical Coherence Tomography for Patients With Polypoidal Choroidal Vasculopathy. *Retina*. 2021. [Online ahead of print]
 50. 厚東隆志: 機器・薬剤紹介 NGENUITY version 1.3 Data Fusion Source. *眼科*. 62. 151-156. 2020.
 51. 北善幸: 機器・薬剤紹介 49. ゴニオスコープ GS-1 (ニデック) . *眼科*. 62. 783-788. 2020.
 52. 厚東隆志: 黄斑未剥離の網膜剥離. *眼科増刊号 眼科救急疾患* 2020. 62. 1226-1233. 2020.
 53. 井上真: 駆逐性出血. *眼科増刊号 眼科救急疾患* 2020. 62. 1283-1286. 2020
 54. 山田健司, 伊東裕二, 佐野公彦, 加藤悠, 北善幸, 廣田和成, 厚東隆志, 井上真, 平形明人: 裂孔原性網膜剥離に対する手術方法と手術成績の変遷. *日眼会誌* 124 : 776-782. 2020.
 55. 鈴木由美, 満川忠宏, 浜由起子, 富田茜, 山田昌和: 部分調節性内斜視手術例の予後に与え

- る術前因子について. 日眼会誌. 124(12). 987-994. 2020.
56. 気賀沢一輝：眼科における治療的自己の発現：眼内レンズ不適合症候群に対する眼科医の態度の比較検討. 日本心療内科学会誌. 24. 157-165. 2020
 57. 重安千花：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 ステューブンス・ジョンソン症候群（眼所見）. 日本医事新報. 5020. 47-48. 2020.
 58. 三宅謙作¹, 山田昌和, 平塚義宗² (1眼科三宅病院, ²順天大): 高齢者社会における視機能障害と社会的コスト. Geriatric Medicine 58. 103-110. 2020.
 59. 岡田アナベルあやめ：with COVID 時代の眼科診療. 日本の眼科. 91(11):44-45. 2020年11月.
 60. 山田昌和：人工涙液とヒアルロン酸点眼液の位置づけ. あたらしい眼科. 37.651-656. 2020.
 61. 山田昌和：ドライアイ診療ガイドラインを読み解く. 臨床眼科 74. 1346-1351. 2020.
 62. 厚東隆志：【黄斑円孔/偽円孔手術を極める!】手術適応と基本手技 特発性黄斑円孔に対する硝子体手術. 臨床眼科 74. 1510-1515. 2020.12.
 63. 片岡恵子, 伊藤逸毅 (名古屋大)：抗 VEGF 治療セミナー 加齢黄斑変性に対する新薬 ブロルシズマブ. あたらしい眼科. 37(12). 1545-1546. 2020.
 64. 寺崎浩子¹, 東範行², 北岡隆³, 日下俊次⁴, 近藤寛之⁵, 仁科幸子², 盛隆興⁶, 山田昌和, 吉富健志⁷, 未熟児網膜症眼科管理対策委員会 (1名古屋大, ²国立成育医療センター, ³長崎大, ⁴近畿大, ⁵産業医大, ⁶盛眼科医院)：未熟児網膜症に対する抗 VEGF 療法の手引き. 日眼会誌. 124. 1013-1019. 2020.
 65. 重安千花：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 角膜ヘルペス. 日本医事新報. 5056. 38-39. 2021.
 66. 厚東隆志, 平形明人, 坂本泰二：【眼科疾患レジストリーの現状と未来】裂孔原性網膜剥離のレジストリー. あたらしい眼科. 38. 133-139. 2021.
 67. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究」研究班 診療ガイドライン作成委員会：無虹彩症の診療ガイドライン. 日眼会誌. 125. 38-76. 2021.
 68. 森賢一郎¹, 立花崇¹, 納富昭司¹, 石川桂二郎¹, 武田篤信¹, 大島裕司¹, 金本尚志², 江内田寛³, 吉田茂生⁴, 平形明人, 西田幸二⁵, 大路正人⁶, 木村和博⁷, 久保田敏昭⁸, 緒方奈保子⁹, 松井孝明¹⁰, 吉富文昭¹¹, 内尾英一¹², 石橋達朗¹³, 園田康平¹ (1九州大学大学院, ²広島病院, ³佐賀大学, ⁴久留米大学, ⁵大阪大学大学院, ⁶滋賀医科大学, ⁷山口大学大学院, ⁸大分大学, ⁹奈良県立医科大学, ¹⁰大島眼科病院, ¹¹吉富眼科医院, ¹²福岡大学, ¹³九州大学)：バイオマーカーの視覚化による疾患病態理解と治療法開発への挑戦(分担研究). 日眼会誌. 125 : 266-284. 2021.

Ⅲ. 著書

1. 慶野博, 平形明人(分担執筆):眼科領域. 免疫・炎症疾患のすべて. 日本医師会. 2020. 309-311.
2. 平形明人: 6 黄斑部. 眼科診療ビジュアルラーニング. 中山書店. 2020. 190-194.
3. Kataoka K, Terasaki H (分担執筆): Intraoperative OCT in Macular Surgery. Macular Surgery. Chang, Andrew, Mieler, Bill, Ohji, Masahito. Springer. 2020. 167-178.
4. 鈴木由美: 【プライマリ・ケアにおける 0 歳児の診療-よくある訴えと診療のコツ】 "よくある訴え"からのアプローチ 眼に関する訴え. 月刊小児科 61(9). 伊藤保彦, 河野陽一, 中西敏雄, 岡部信彦, 高橋孝雄 監修. 金原出版. 2020. 1232-1237.
5. 一般社団法人日本リウマチ学会小児リウマチ調査検討小委員会 ぶどう膜炎ワーキンググループ, 岡本奈美, 慶野博, 高瀬博, 丸山和一, 八代将登, 安村純子(分担執筆): 小児非感染性ぶどう膜炎 初期診療の手引き 2020年版. 武井修治, 森雅亮, 梅林宏明監修. 羊土社. 2020.
6. 重安千花(分担執筆): 3. 角膜 2) 先天異常 (4) 後部胎生環. 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 外園千恵編集. 総合医学社. 2020. 126-127.
7. 重安千花(分担執筆): 3. 角膜 2) 先天異常 (5) ペーターズ異常. 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 外園千恵編集. 総合医学社. 2020. 128-129.
8. 重安千花(分担執筆): 3. 角膜 2) 先天異常 (6) アクセンフェルト・リーガー症候群. 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 外園千恵編集. 総合医学社. 2020. 130-131.
9. 渡辺交世(分担執筆): 4. 虹彩 1) ぶどう膜欠損(コロボーマ). 眼疾患アトラスシリーズ第1巻 前眼部アトラス 第1版. 大鹿哲郎, 外園千恵(編). 総合医学社. 2020. 292.
10. 山田昌和: ドライアイ. 今日の治療指針 2021. 福井次矢, 高木誠, 小室一成編. 医学書院. 2021年. 1593-1564.
11. 山田昌和, 平塚義宗編: 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 南江堂. 2021年.
12. 重安千花(分担執筆): 第2章 角結膜 1. 新生児の角膜混濁. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗編集. 南江堂. 2021. 26-28.
13. 重安千花(分担執筆): 第2章 角結膜 26. 高齢者に生じた瞼球癒着を伴う慢性結膜炎. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗編集. 南江堂. 2021. 81-82.
14. 鈴木由美(分担執筆): 第7章 斜視・弱視 内斜視の疑いで受診した生後6か月の乳児. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗 編集. 南江堂. 2021. 236-238.
15. 鈴木由美(分担執筆): 第7章 斜視・弱視 調節性内斜視で眼鏡処方したが斜位にならない幼児. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗 編集. 南江堂. 2021. 239-241.

16. 平形明人：眼内長期滞留ガス（SF₆, C₃F₈）使用ガイドラインについて. OCULISTA 96. 白根雅子編. 全日本病院出版会. 2021. 120-126.
17. 北善幸：第5章 緑内障 4.視神経乳頭の変化. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗編. 南江堂. 2021. 212-214.
18. 北善幸：第5章 緑内障 5.視神経乳頭の近視性変化. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗編. 南江堂. 2021. 215-217.
19. 渡辺敏樹（分担執筆）：急性の片眼の眼瞼下垂と複視. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗編. 南江堂. 2021. 256-258.
20. 渡辺敏樹（分担執筆）：歩行困難を伴う急性の複視. 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップ Q&A. 山田昌和, 平塚義宗編. 南江堂. 2021. 259-261.
21. 今野公士：特集 With コロナ時代の眼科診療. 私の施設の新型コロナ対策クリニック. 眼科グラフィック. (10)1. メディカ出版. 2021. 96-100.
22. 今野公士：特集 With コロナ時代の眼科診療. 私の施設の新型コロナ対策クリニック. 眼科ケア (23)5. メディカ出版. 2021. 71-82.

IV. 報告書

1. 山田昌和(分担研究者). 令和元年度厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業), 角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究・報告書, 2020年5月
2. 山田昌和(研究代表者). 令和元年度厚生労働省科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業), 成人眼科検診による眼科疾患の重症化予防効果及び医療経済学的評価のための研究・報告書, 2020年5月

V. その他

1. 平形明人：なんでも健康相談 眼底出血について教えてください. NHK きょうの健康 4月号. 2020年. p110.
2. 平形明人：週刊朝日 MOOK 近視（強度近視）. 新「名医」の最新治療 2020. 東京. 朝日新聞出版. 2020年. p170-173.
3. 平形明人：シリーズ私の教室 杏林大学医学部付属病院 眼科学教室のご紹介. 三鷹醫人往来. 第42巻4号. 東京. 2020年. p31-32.
4. 平形明人（寄稿）：会員追悼 秋山健一先生を偲ぶ. 東京都眼科医会報. 第252号. 2020年. p63-64.
5. 重安千花：日本眼科学会雑誌最優秀論文賞. 第124回日本眼科学会総会. 東京(オンライン).

2020年4月16-19日

6. 山田昌和：「逆さまつげ」抜くしかない？からだの質問箱．読売新聞．2020年10月9日．
7. 岡田アナベルあやめ 出演、NHK eテレ：「チョイス@病気になったとき」テーマ：「加齢黄斑変性 最新治療情報」2020年11月7日（放送）、2020年11月13日（再放送）．
8. 山田昌和：（どうしました）ドライアイ、治療法や薬は．朝日新聞．2020年11月18日．
9. 平形明人：名医のいる病院 2021 「眼の病気」．医療新聞社．P454-456．2021年．
10. 山田昌和：ドライアイ花粉防いで．神戸新聞．2021年2月27日．
11. 平形明人：復刻版の刊行に寄せて，英語でムンテラ復刻版．秋山健一．東京都眼科医会会報別冊．2021年3月．